

# 最も生産・消費される野菜 タマネギ

市場志向型農産品振興マスタープラン策定  
プロジェクト(PAPAOM)報告書より

# ブルキナファソにおけるタマネギ

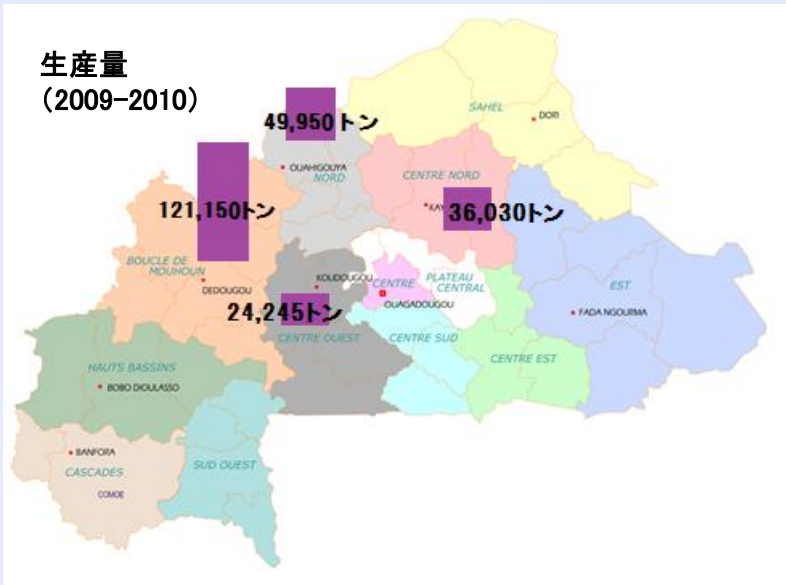
1 生産量は7年間で10倍に拡大しているが、乾期作が主流。

2 生産時期の乾期は近隣国へ輸出し、雨期はオランダやモロッコから輸入している。

3 雨期と乾期の市場価格差は4倍。

# 1. 生産量は7年間で10倍

生産量  
(2009-2010)



全国生産量：329,319トン(2009-2010)

全国栽培面積：11,449 ha (野菜栽培面積の約4割)

- 左図の4州の合計生産量は、全国生産量の70%を占める。
- 西アフリカではナイジェリアが突出して生産量1位。ブルキナファソは、ニジェール、セネガルに続き4番目だが、これら3カ国は30万トン台。
- **生産量は、2003年から2010年の7年間で10倍に増加。**

## 周辺国の国産タマネギの収穫・流通時期及び生産量

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	生産量
Burkina Faso													329,319トン*
Côte d'Ivoire													ND
Ghana													120,000トン
Niger													371,986トン
Mali													42,000トン
Benin													16,000トン
Nigeria													1,238,090トン

出典：生産量はFAOSTAT 2011のデータを基本としたが、\*は世銀(PAFASP)のデータに基づく。収穫・流通時期は、「Analyse des chaines de valeur ajoutee des filieres agro-sylvo-pastorales」PAFASP, 2011より。

# 2. 乾期は輸出国、雨期は輸入国

## ブルキナファソ産タマネギの **輸出量**

[単位:トン]

Burkina Faso	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Côte d'Ivoire	649	5,140	936	200	293	16,394
Ghana	298	673	38	65	8	28
Togo	339	1,125	375	34	750	750
Benin	0	0	0	0	191	0
Other countries	992	0	0	0	0	1
<b>Total</b>	<b>2,278</b>	<b>6,938</b>	<b>1,349</b>	<b>299</b>	<b>1,242</b>	<b>17,173</b>

出典: Trademap, Exportation statistics from reporting countries

## 海外産タマネギの **輸入量**

[単位:トン]

Burkina Faso	2010	2011	2012	
Netherlands	646	451	960	
Côte d'Ivoire	926	283	199	再輸出と考えられる
Ghana	0	0	270	再輸出と考えられる
Niger	839	1,002	980	
Mali	10	17	30	
Morocco	0	0	271	
China	380	350	208	
Other countries	0	109	33	
<b>Total</b>	<b>2,801</b>	<b>2,212</b>	<b>2,951</b>	

- 2006/2007年頃まで、ニジェールと共に西アフリカで数少ないタマネギ自給国であったが、この頃を境に輸入量も増加している。

出典: Trade Map, Importation statistics from reporting countries (As of June 2013)

# 3. 世界最大輸出国オランダの輸出货量

## オランダの西アフリカ(EGOWAS)向けタマネギ輸出货量

Destinations	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Sénégal	94,643	75,303	91,794	112,926	125,019	128,333	136,976	129,598
Côte d'Ivoire	40,291	24,878	26,387	34,428	64,646	61,968	64,489	62,859
Guinée	22,859	24,188	15,803	26,793	34,232	34,862	32,959	45,191
Gambie	11,840	8,991	11,677	14,193	12,208	15,413	11,518	12,170
Sierra Leone	1,751	708	6,695	7,975	8,998	6,771	10,404	14,277
Libéria	3,960	3,981	4,691	4,838	5,488	6,406	5,853	7,578
Mali	1,544	431	1,600	1,190	2,734	4,616	3,968	4,418
Guinée-Bissau				2,154	3,137	3,194	3,106	3,586
Cap Vert	2,035	1,869	1,344	2,014	2,232	1,749	1,957	1,873
Ghana	217	218	218	219	438	469	939	1,564
Burkina Faso	30		8	71	397	670	470	1,272
Togo				146	293	295	389	327
Bénin				7	10	32	107	0.3
Niger				0	0	0	0	0
Nigeria					2	2		1
Total				206,954	259,833	264,772	273,129	284,715

**【オランダ】**

- 年間生産量: 100万トン
- 単収: 50~60トン/ha(世界最高)
- 生産量の約9割を輸出
  - 30% EU
  - 25% 旧ソ連邦諸国
  - 25% アフリカ向け**
  - 10% アジア
  - 10% その他
- 年間を通じた輸出体制が確立しているが、最も一般的なものは春播き栽培で、収穫時期は9月/10月。ブルキナファソで価格が高くなる11月~12月が最も多く市場に出回る時期。

2012年の輸出货量は1,272トンだが、コートジボワールから多くのタマネギが再輸出されてブルキナファソに入ってきている。

2006/2007年頃から増加、現在では端境期(7月~12月)はオランダ産をはじめとする輸入タマネギが多く出回っている。



# 4. ブルキナ産タマネギの近隣国への輸出拡大

## コートジボワールの輸入量

Cote d'Ivoire	2009	2010	2011
Netherlands	64,932	58,924	62,237
France	959	1,173	734
Other EU countries	1,453	1,341	117
Niger	1,425	2,958	4,194
Burkina Faso	0	0	316
Egypt	4,686	4,356	1,978
Morocco	0	23	85
South Africa	0	0	57
Other countries	1,357	51	64
<b>Total</b>	<b>74,812</b>	<b>68,826</b>	<b>69,782</b>

コートジボワールのタマネギ生産量は極めて少ない。流通するタマネギの大半は輸入。



ガーナのタマネギ市場では、約50%が輸入タマネギ。中でもニジェール産が多い。

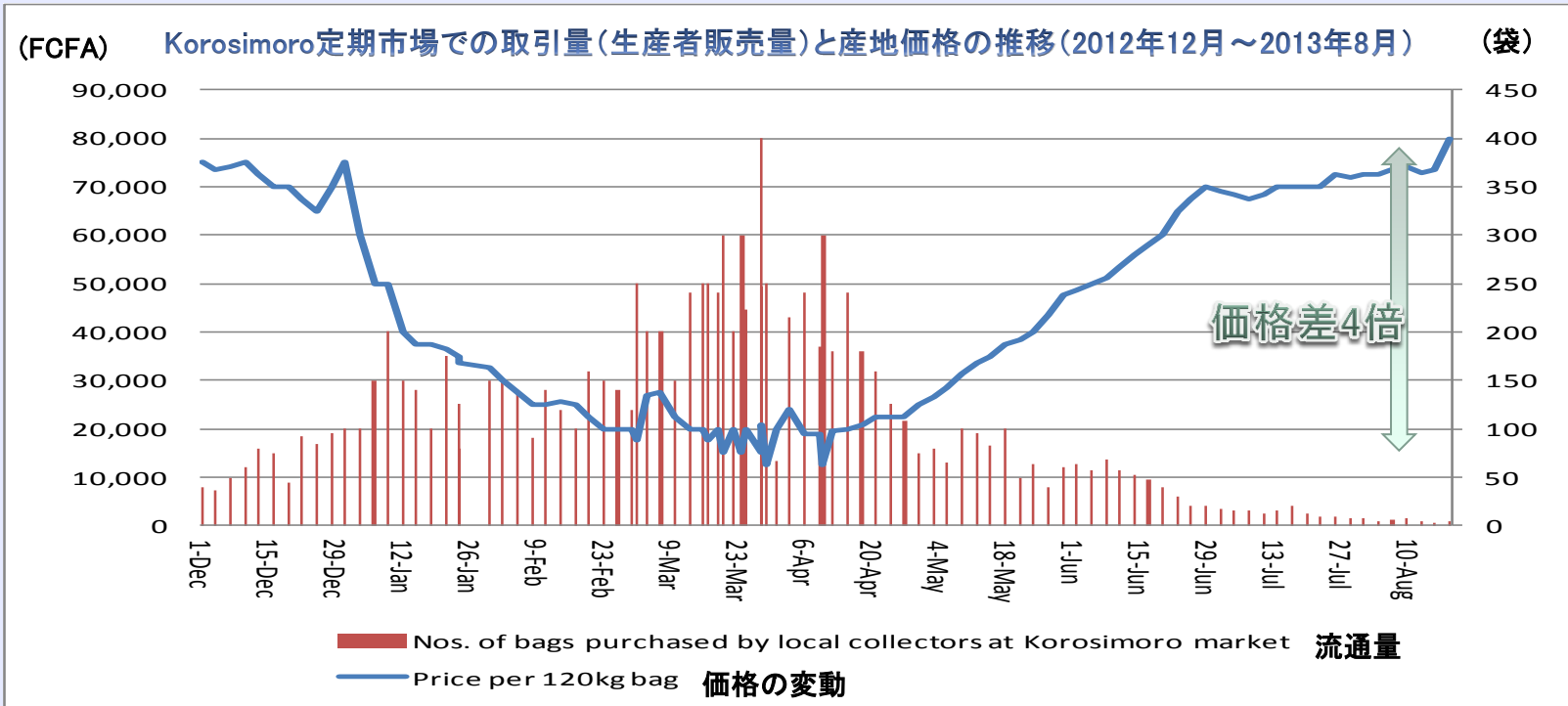
## ガーナの輸入量

Ghana	2010	2011	2012
Netherlands	28	28	56
Belgium	224	800	1,040
Côte d'Ivoire	25	1,002	802
Niger	47,133	56,593	44,855
Nigeria	0	0	3
Togo	27	53	268
Benin	0	0	166
Burkina Faso	3,602	16,848	24,986
China	1,809	2,430	2,332
Other countries	2,087	4,274	4,264
<b>Total</b>	<b>52,849</b>	<b>77,768</b>	<b>74,542</b>

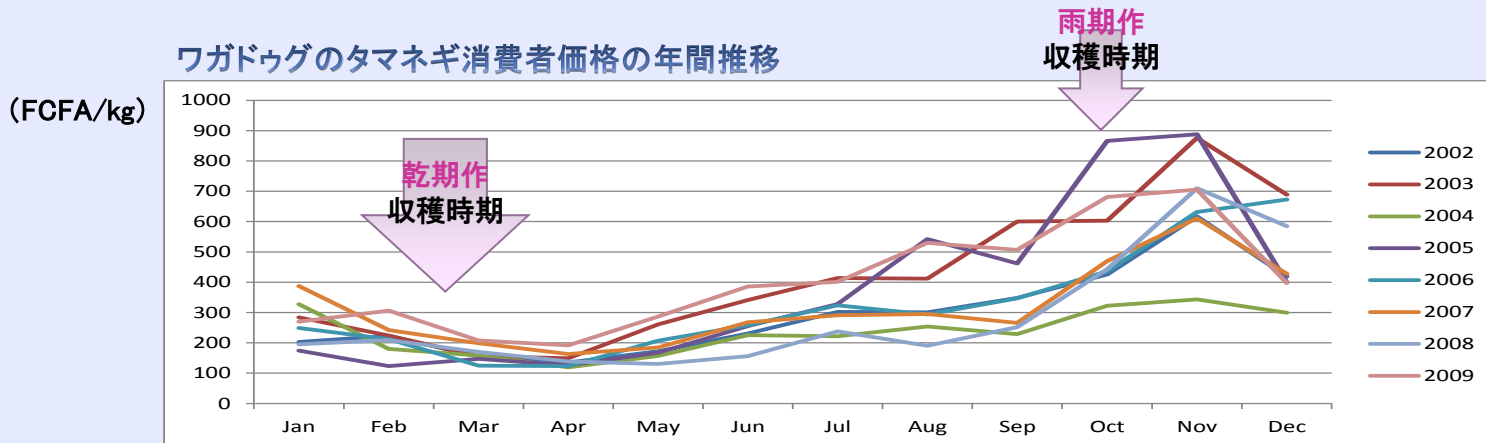
## トーゴの輸入量

Togo	2009	2010	2011
Netherlands	40	0	59
Other EU countries	14	0	0
Ghana	0	158	0
Niger	1,372	1,162	38
Nigeria	43	19	0
Benin	781	592	262
Burkina Faso	1,026	1,605	4,828
China	30	6	0
Other countries	13	0	0
<b>Total</b>	<b>3,319</b>	<b>3,542</b>	<b>5,187</b>

# 5. 年間の価格変動は大



出典: Korosimoro野菜生産者組合のデータから作成



# 6. 市場に出回る品種



**品種名: VIOLET DE GALMI**

- ❖ オランダ産の白いタマネギ。
- ❖ 端境期に多く出回る。
- ❖ ブルキナファソでは左右の写真のような紫色のタマネギが好まれる。



**品種名: PREMA178**



- ❖ ニジェール原産品種。
- ❖ **ブルキナファソで最も栽培されている品種。**
- ❖ 国内で種子生産されており、種子を安価購入可能。
- ❖ **乾期栽培用品種**で、多雨多湿な環境では生育不可。
- ❖ 同じく紫色の品種Violet de Garangoと品種が混ざってしまっている。

- ❖ タイで開発された品種。
- ❖ 農業研究機関によると同品種が**最も雨期栽培に適した品種。**
- ❖ 3年前から導入が始まっている。



# 7. 国産タマネギを高価格時に売るには

## 1 雨期作栽培など新たな作型を導入する

- 現在、タマネギは乾期栽培が主流である。乾期作栽培は、収穫最盛期に市場への供給が過剰になり価格が下落する。そのため、一部の生産者はより利益を上げるため、価格の高い時期に収穫できるよう、乾期作の栽培開始時期を早める取り組みを行っているが、栽培初期の降雨量が多いなど、栽培のリスクが高い。
- そのため、10月～12月にかけての端境期・高価格時に出荷できるよう雨期作栽培導入のポテンシャルがある。

## 2 乾期作のタマネギを出来るだけ長く貯蔵する

- 雨期作栽培導入と共に、現在栽培されている乾期作タマネギをいかに長く貯蔵して高値の時期に販売できるかも、もう一つのチャレンジ。
- 伝統的な貯蔵方法では、4月から6月にかけての高温期とそれに続く高湿度の時期に国内生産量の30%～50%がロスになり、また6月以降の保存は難しい。
- 世銀のPAFASPプロジェクトが支援した新型貯蔵庫(棚式および小屋型)では、ロス率の低減と保存期間の延長が可能。伝統的な倉庫では3ヶ月の保存が可能だが、PAFASPの支援で建設した小屋型貯蔵庫は4月～7月の4ヶ月間の保存が可能であることが分かっている。
- そのため、新型貯蔵庫数の増加が必要。



UDGPM/Kのタマネギ貯蔵庫



貯蔵庫で保管されるタマネギ